

平成19年2月1日
(2007)
第69号
毎月発行
編集
公民館だより編集室
発行
西東京市保谷公民館

西東京市 公民館だより

田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170
保谷公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825
住吉公民館 住吉町6-1-25 TEL 421-1125
谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011



全日空羽田整備工場見学

難しい「環境講座」

公民館では、過去数年にわたり様々な角度から環境講座を企画してきました。今年度は「環境問題は、難しくして私には無理かも…」と思っている方にこそ参加していただけるように、楽しみながら学ぶ「体験型環境講座」を全10回で実施しました。

自然から学ぶ

6月7日に東京都奥多摩の「山のふるさと村」を訪ね、見る・聞く・匂いをかぐ・触る・味わうという五感を総動員させて自然と触れ合う活動を体験しました。

まず見ようよ！ 行動を起そうよ！

環境講座報告

世界各地で地球温暖化を主因とする異常気象による被害が多発しています。これらは豊かさを追い求めた人間に対する、地球からのしっぺ返しだと言われています。環境破壊を食い止め、美しい地球を後世に残していくために、今、私達に何ができるのでしょうか？



企業の取り組みに学ぶ

7月5日には「キリンビール横浜工場」を訪問して、工場から出る「ゴミ」を徹底して資源化している企業の取り組みについて知りました。参加者の感想には「企業はここまで取り組んでいるのかと知って、驚きました」「大企業ならではの、資源を有効活用し、環境に配慮するのは当たり前」「企業による公害が問題になったのは昔のこと。今は家庭から出る「ゴミ」問題や、エアコンの

排気ガスに苦しむ

9月20日、多摩川から「全日空羽田工場」へ向うため、車が轟々と行き交う羽田空港トンネルの中を、30分間ただひたすら歩き続けました。トンネルの中は排気ガスが充満していて、ハンカチで口と鼻を押さえながら、やっとの思いでトンネルを脱出。参加者の中からは「こんなに私達は空気を汚して生活しているのだと、改めて実感しました」という感想が出てきました。

考えたら実践を

環境に配慮する取り組みが、塩加減を確かめている班では、「どう？これでいい？」「いいんじゃない」「うまいよ」と、言葉交わすメンバーの和やかな様子を垣間見ることができました。川田さん(6年目)は、「楽しんでいますが、家内も楽しみに待っているんです。そして家でもう一度作ります。」

きらいな盛り付けが終わり、いよいよ味見、緊張する瞬間です。舌つづみを打って満足顔。取材陣もひとつまみ、んっ！！旨い！なるほど、楽しみに待っている人がいるはずですよ。

山の上のふるさと村自然体験

サークル訪問 ~コンベック~

お父さん料理で頑張る

毎月一回住吉公民館で活動する男の料理サークル「コンベック」を紹介いたします。同会は結成して20年以上になります。

現在26人いるメンバーの年齢は60歳から77歳。参加して、まだ1か月の方から20年目という方まで経験もまちまち。わいわい、がやがや実に楽しそうなお雰囲気です。

厨房の中は、男、男、男の面々。その中に紅一点、料理アドバイザーの斉藤恵美子先生が狭い空間を飛び回って、お父さん達の指導をしています。

このサークルが長続きしている秘けつは、季節毎のバラエティーに富んだメニューにあるようです。また、材料の買い出し当番を班毎に持ち回りで行うなど、メンバー全員のチームワークの良さも特徴です。

連絡先 大沢 466-3737